Koryo 陵雲 High School

〒031-0011　青森県八戸市田向二丁目２番６号／電話 0178-44-3866／FAX 0178-43-9077
https://kouryo-high-school.com./メール kouryo@chibagakuen.ac.jp

文化祭





10月4日（日）、「意気衝天～peace of youth～」のスローガンのもと文化祭が行われた。一日開催となった文化祭だが、各クラスは参加型の展示で来校者と交流する姿が見られた。来賓、教職員、一般来校者の投票によって最優秀賞に輝いたのは2年1組の迷路だった。迷路を進みながら謎解きをしたり、展示をしっかり見ていないと答えられないクイズがあったりと楽しみながら参加できる点が評価された。また、今年もPTAOB会による食堂、PTA喫茶、キッチンカー5台が協力してくださり賑わいを見せた。

【ポスター】3年　松田　和花（洋野町立種市中学校出身）
【スローガン】2年　村木　穂乃（東中学校出身）
【パンフレット表紙】3年　佐々木心花（大館中学校出身）
【クラス展示】最優秀賞　2年1組
優秀賞　3年2組
審査員賞　1年1組

芸術鑑賞会



10月6日（火）、東京演劇集団風による演劇「ヘレン・ケラー～響き合うものたち～」を全校生徒と保護者で鑑賞した。体育館の中に組み立てられた舞台はもちろん、照明装置やバックヤード見学にも目を輝かせていた生徒たち。演技が始まると演者の息づかいを間近で感じながら、体育館であることを忘れるくらい没頭して観ていた。三重苦のヘレンやヘレンを支えるアニー・サリバン、家族たちのやり取りを見て人が人を理解すること、向き合うことの難しさや素晴らしさ、心と心が触れ合ったときの魂の響きを感じることができた時間となった。

安藤昌益について学ぶ



10月23日（金）、日本史の授業で、吉田守夫先生（本校の元教頭先生）をお招きし、江戸時代に地元八戸で活躍した安藤昌益について教えていただいた。安藤昌益は江戸中期の医師、思想家であり、著書の『自然真営道』において、身分制度を批判し、労働が社会を支えると説いた人物であることなどを学んだ。生徒たちは、藩政時代に、身分も男女も差別がない社会を目指した人物が八戸で活躍していたことに驚いていた。また、授業では、当時の農民、武士がそれぞれ着ていたという麻や絹の実物も見せていただき、現在の自分たちとの生活の違いを実感していた。

軽音楽サミット

10月25日（日）、全国高等学校軽音楽発表会「軽音楽SUMMIT 2027」青森県予選会が八食センター厨スタジアム2F厨ホールで行われ、軽音楽部のバンド一組が参加した。2年生の木村未悠さん（Gt. 北陵中学校出身）、佐々木清良さん（Vo. 長者中学校出身）、向井彩音さん（Key. 根城中学校出身）、村木穂乃さん（Dr. 東中学校出身）、1年生の村田彩音さん（Gt. 湊中学校出身）の女子だけで結成されたグループだ。大会ではオリジナル曲を披露した学校もあり、刺激を受けた様子。初のコンテスト参加は、貴重な経験となり、今後の活動に繋がるさらなる励みとなったようだ。

サッカー選手権県大会 第3位



【試合結果】
○10月18日（日）　向陵　3　-　1　三沢
【得点】
3年　川俣　創（笠間市立笠間中学校出身）
3年　田邉　慧（横浜市立中川西中学校出身）
3年　長谷川　航太（江東区立深川第四中学校出身）

○10月22日（木）　向陵　3　-　2　弘前実業
【得点】
3年　髙山　勝吏（湊中学校出身）
3年　鈴木　柊介（大井町立湘光中学校出身）
1年　出川　龍旺（白銀南中学校出身）

○10月27日（火）　向陵　0　-　0　八工第一
PK　（4　-　3）
準決勝
○10月29日（木）　向陵　1　-　6　野辺地西
【得点】
3年　長谷川　航太（江東区立深川第四中学校出身）



青森県高総文祭・郷土芸能部門優秀賞



～開け！輝け！自分を見せつけろ！～

太鼓部門 第1位

11月1日（日）、青森市の青森明の星中学・高等学校（明の星ホール）で第47回青森県高校総合文化祭郷土芸能部門が行われた。郷土芸能部門には太鼓部門と伝承芸能部門があり、4校が参加。本校太鼓部は参加校の中で最少の5人で挑んだ。大勢に負けない音圧、音のクオリティにこだわった練習の成果を発揮し、太鼓部門では昨年に続き第1位、総合2位の優秀賞を獲得した。



10月9日

レッツ・スポーツⅡ講座

トランポリンコース

本校体育館



1年　高橋　歩（第一中学校出身）

今回のチャレンジ講座では前回と同じトランポリンコースに挑戦しました。以前もやったことがあるので意気揚々と挑みました。しかし、思うように体を動かすことができず、自分への失望もありました。ただ跳ぶだけではなく、体のバランスを保ち、タイミングよく力を調節することが大切なのだと改めて感じました。また、一度経験したことでも必ず上手くできるとは限らず、そのときの状況に応じて動きを工夫する必要があるという新しい学びも得られました。前回の経験を十分に生かし切れなかった部分もありましたが、二度目の挑戦だからこそ前回との違いや自分の課題に気づくことができました。

体操コース

ソニアスポーツクラブ



1年　松浦　丈翔（古河市立三和東中学校出身）

今回は目標を「バク転を習得する」にして講座に臨みました。まず準備運動をして、そこからいろいろな技に挑戦していきました。中には難しい技もありましたが、とにかくやっていて楽しかったです。最初は不安や怖さもありましたが、講師のたくさんのアドバイスのおかげで技を習得することができました。自分では気づかないことややれるようになるための助言をしっかり聞くことが自身のパフォーマンスに生きてきます。助言をどう修正していくか考える過程を経て、できることが増え自信がつきました。

1年　小山内　悠（根城中学校出身）

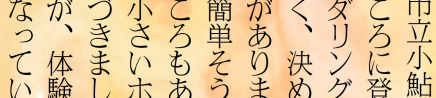
私は体操が苦手ですが、準備運動から楽しく活動することができました。講師の方が小学5年生のときの担任で、4、5年ぶりに話すことができたのも影響していると思います。たくさんサポートをしていただいたおかげで終始楽しい活動となりました。

1年　平　華花（白山台中学校出身）

今回は体操ということで、やったことがないジャンルで不安が大きかったです。鉄棒なども小学生のとき、全くできずにいたのでさらに恐怖心でいっぱいでした。いざ講座を受ける場所に入ると、思ったより器具が多くて驚きました。本格的な物も多く、不安があったものの好奇心が勝ち、結果的に楽しむことができました。さっそく体験が始まると最初から腕を大きく上げる運動が続き汗だくになりました。しかし、そのウォーミングアップのおかげで身体的にも精神的にも楽になり良かったと思います。次に前転などのマット運動をしました。先生がとても優しく褒めてくれて、純粋に嬉しかったし、やる気モチベーションにもなりました。体験中、側転をできるようになろうとチャレンジしたのですが、時間が足りずマスターできなかったので、再チャレンジしてみようと思います。講座を通して、とりあえずやってみることができることがあるかもしれないと気づくことができました。今できないことも、できないとあきらめず、まず目標を立てることが大切だと感じました。

バッティングコース

ベースボールスタジアム



3年　坂本　響亮（北陵中学校出身）

今回は、バッティングにチャレンジしました。最初は100km/hを超えるボールを打つのは振るタイミングを合わせることが難しかったですが、打席を重ねるにつれて、速いボールに目が慣れ、タイミングをつかめるようになりました。また、右打ちだけでなく、左打ちにも挑戦しました。左打ちは右打ちと体の向きやバットを握る手が上下逆となり、力強く握ること自体が難しく苦戦しました。しかし、左打ちも右打ちと同じようなフォームで同じように振るイメージで練習を続けるとボールが当たるようになりました。普段やることのないスポーツに挑戦する楽しさや難しさを実感しました。



3年　森崎　拓美（根城中学校出身）

最初は、皆の様子を見てからはバットに当てることさえできませんでした。周りで見ているのと、バッターボックスに立って球を見るのとでは全く速さが違っていました。そこからどうやれば打てるのか試行錯誤し、次の挑戦では20球中5球当てることができました。後半は、フットサルをしました。一人でコツコツやることも楽しいですが、他学年の人たちと一緒に活動し、楽しい、嬉しい、悔しいといった気持ちを共有できるのもチャレンジ講座の良いところだと改めて感じました。

キックボクシング・エアロビコース

BOM SPORT GYM HACHINOHE・学校法人あづま学園八戸保健医療専門学校内柔道場



1年　古川　幸輔（松戸市立常盤平中学校出身）

午前中にキックボクシングを行い、午後はエアロビクスをやりました。キックボクシングではムエタイのことについて学びました。ワイクルーとは「ワイ（合掌）」と「クルー（師匠）」を組み合わせた言葉で、技を授けてくれた恩師や家族に礼を尽くし、試合の無事と勝利を神に祈願する儀式です。また、「モンコン」や「プラチアット」と呼ばれる伝統的な鉢巻状の頭飾りを身につけ、笛や太鼓などの民族音楽に合わせてリング内を回ることも教わりました。ムエタイはひじやひざの技が使えるところがキックボクシングとの違いです。キックやパンチなどの動きは、普段使うことのない筋肉を使ったので、とても疲れました。エアロビクスはサッカー部のトレーニングで何回かやったことがありましたが、頭を使う動きもあり、楽しさだけでない面白さも感じました



1年　佐々木　駿（大田区立大森第六中学校出身）

最初にキックボクシングとじゃんけんを掛け合わせたレクリエーション的な勝負を行いました。午前中の体験とは違った楽しさがあり、男女の勝負になっても、じゃんけんという運要素が加わってたことにより、とても盛り上がりました。体験を通して、仲間との関わりが増え、絆がより深まりました。

3年　堰合　佑多（階上町立階上中学校出身）

今回のスポーツ講座では、ボルダリングを体験しました。ボルダリングは、今まで一度もやったことがなく、最初は高いところに登れるか不安でしたが、いざやってみると簡単でした。しかし、最初の階級はとても簡単でしたが、一つ階級が上がるだけで、一気に難しくなりました。自分の納得のいく動きができなくなっていくのが悔しかったです。そこで、講師の方にアドバイスをもらったり、コースの見本を実践で見せてもらいながら、手や足の使い方を真似してみました。すると、少しはスムーズに動けるようになりました。ボルダリングは、手と足で体全体を支えなければなりません。講師の方は、それを軽々とやっていて凄いと思いました。普段、部活動でトレーニングはしていますが、ボルダリングの動きに必要な筋肉は、いつも使っていない筋肉だったので、腕の筋肉痛がひどかったです。今回の講座を体験して、スポーツの楽しさを実感できたし、成功したときの達成感は気持ちいいものだと改めて思いました。



ボルダリングコース

2ND WALLY BOULDERING





3年　賴住　隆汰（厚木市立小鮎中学校出身）

体験前の目標では、高いところに登ると書きましたが、実際に体験してみると、ボルダリングはただ高いところに登れば良いということではなく、決められた色（コース）を上手く使いながら登る必要がありました。自分のボルダリングのイメージは、比較的簡単そうでした。しかし、登る壁は、斜めになっているところもあれば、つるつるしたホールド（掴むところ）、小さいホールドもあり、さまざまな難しさがあることに気づきました。他のコースに比べて活動時間は短い方でしたが、体験を始めて一時間後には、手が痛く、力が入らなくなっていました。サッカーや野球、陸上などとは筋肉や身体の使い方が異なりました。午後は、ボルダリングとじゃんけんを掛け合わせたレクリエーション的な勝負を行いました。午前中の体験とは違った楽しさがあり、男女の勝負になっても、じゃんけんという運要素が加わってたことにより、とても盛り上がりました。体験を通して、仲間との関わりが増え、絆がより深まりました。

3年　堰合　佑多（階上町立階上中学校出身）

今回のスポーツ講座では、ボルダリングを体験しました。ボルダリングは、今まで一度もやったことがなく、最初は高いところに登れるか不安でしたが、いざやってみると簡単でした。しかし、最初の階級はとても簡単でしたが、一つ階級が上がるだけで、一気に難しくなりました。自分の納得のいく動きができなくなっていくのが悔しかったです。そこで、講師の方にアドバイスをもらったり、コースの見本を実践で見せてもらいながら、手や足の使い方を真似してみました。すると、少しはスムーズに動けるようになりました。ボルダリングは、手と足で体全体を支えなければなりません。講師の方は、それを軽々とやっていて凄いと思いました。普段、部活動でトレーニングはしていますが、ボルダリングの動きに必要な筋肉は、いつも使っていない筋肉だったので、腕の筋肉痛がひどかったです。今回の講座を体験して、スポーツの楽しさを実感できたし、成功したときの達成感は気持ちいいものだと改めて思いました。